



広がる活動の輪

長洲町を明るくする運動

毎年7月は、「社会を明るくする運動強化月間」として、犯罪のない明るい社会の実現に向けて、全国的な運動が行われています。

町でも、更生保護協議会の皆さんと園児たちによる啓発活動や、町を良くするために日頃から活動している団体による「長洲町を明るくする運動発表会」が行われました。ことしで2回目の開催になった発表会では、小中学生や地域、一般企業などのさまざまな分野から取り組みの発表があり、日頃の活動の様子が紹介されました。

この特集では、発表した8団体を紹介します。

社会を明るくする運動とは
すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築こうとする全国的な運動で、法務省が主唱するものです。ことしで68回目を迎えました。



スローガンは「改革・おもしろい・愛される」学校に！



▲生徒総会で意見を伝える生徒たち

腹栄中学校生徒会では、「I Innovation（改革を）、Interesting（おもしろい）、愛される学校に！」を生徒会スローガンに掲げています。

本年度、このスローガンを達成するために、さまざまな活動につなげていこうと考えています。まず、6月の生徒総会で全校生徒での話し合いを行いました。クラス単位で話し合った上で生徒総会に臨み、笑顔や授業改革など、さまざまな意見が出ました。集約した意見をもとに、地域のためにでき

ることとして、正門に立つてのあいさつ運動を始めました。正門前の通学路は、通行量が多いことから、安全運転を呼びかけるのぼり旗を作り、のぼりを持ってあいさつ運動を行いました。車がゆっくり走ってくれたり、横断歩道で停車してくれるなどの効果がありました。

今後は、遠足で班ごとにルートを変え、ごみ拾いをしながら目的地に向かうことを計画しています。また、地域の行事へも積極的に参加していきます。



▲正門でのあいさつ運動

『地域とつながる生徒会活動』

腹栄中学校

地域の安全性の向上へ、校区内の区長さんたちと意見交換



▲地図を広げ話し合う子どもたち

腹赤小学校6年生は、昨年の夏休みに、学年PTAレクリエーション（当時は5年生）で、校区内の区長さんたちとの懇談会を開催しました。

これは、日頃から登下校する通学路や、地域の遊び場を中心に危険な場所を確認し、改善したいと思って企画したものです。

懇談会当日に向けて、行政区ごとのグループに分かれて、地域の危険な場所、安全な場所について話し合いました。大きな地図を作り、話し合いで出た意見をもと



▲懇談会での意見交換の様子

に、危険・安全を色で分け、理由を記入し、懇談会に臨みました。

懇談会では、各区長さんたちに意見を伝え、改善に向けて詳しい意見交換を交わし、充実した懇談会になりました。

その後、懇談会で出た改善点がいくつか改善されました。私たちの意見を真剣に聞き、改善に向けて動いてくれた区長さんたちに感謝しています。今後もこの取り組みを続けていきたいです。

『子どもたちから見た地域安全マップの作成』

腹赤小学校

たくさんの活動をとおしてコミュニティづくり



▲施設訪問をするどうしよう会の皆さん

下東区自治会では、介護予防拠点施設の『はっとり荘』を拠点に活動を行っています。

一番参加者が多い布あそび教室では、区民自らが講師になり、古布を使った布あそびを教えています。男性料理教室では、日頃料理をしない男性が集まり、月1回活動し、昨年は、高齢者を招待するふれあいサロンで手料理を振る舞い、大変好評でした。

体育会系コミュニティとしては、健康体操、ピンポン教室、グランドゴルフなどを行い、健康



▲通学路での見守り活動

づくりに取り組んでいます。

舞踊を中心に活動する華々会や、童謡・唱歌を歌うどうしよう会が通所施設を訪問するなどの活動も盛んです。

そのほか、小学生の見守り活動を行い、安心して登下校ができるように、横断歩道で誘導したり、10年以上続く取り組みです。また、年1回の防災活動として、自宅から小学校屋上まで避難し、避難ルートや危険箇所の確認を行っています。

『地域の「コミュニティづくり』

下東区自治会

地域の行事に積極的に参加



▲地域の祭りに積極的に参加

熊本中央信用金庫長洲支店は、地域に密着した金融機関を目指して、地域の行事に積極的に参加するなどの活動に取り組んでいます。より良い長洲町にするために何かできることはないかと思つたことがきっかけです。

のしこら祭、的ばかい、長洲祇園祭などに参加するほか、四王子神社でチャリティー餅つきを毎年開催し、収益の一部を町社会福祉協議会に寄附しています。

また、毎朝支店の周辺の清掃を行い、支店内は地域の皆さんが活



▲保育園を訪問し啓発活動

用できるように、展示スペースとして開放しています。若手の男性職員は、商工会青年部に所属し、町内での交流を深めています。そのほか、熊本中央信用金庫のキャラクター、チューちゃんとなえちゃんを連れて保育園や老人ホームを訪問し、劇を通してお金の大切さを伝えていきます。

今後も、信用金庫の原点である、相互扶助の精神のもと、人や地域に寄り添い、一体となって長洲町に貢献していきたいです。

『地域に密着した信用金庫』

熊本中央信用金庫長洲支店

『伝統芸能の継承』

清源寺神楽保存会

122年続く伝統芸能を次の世代へ

清源寺神楽は、明治29年に名古屋神社保存会から習い、受け継がれ、昭和48年に清源寺神楽保存会が結成されました。無病息災、家内安全、五穀豊穡の願いを込めて、神社の祭礼を中心に拝殿で行う、約122年にわたって受け継がれてきた伝統芸能です。

現在、会員は15人、小学生から高校生までの準会員は7人、師匠が3人の計25人で活動しています。清源寺公民館で毎週日曜日に練習をしています。



▲施設への訪問活動

に奉納を行うほか、介護施設訪問や腹赤小3年生を対象に伝統を伝える授業を行っています。

ことし6月には、明治安田クオリティオブライフ文化財団の「地域の伝統文化保存維持費助成制度」に、全国142件の応募の中から43件に選ばれました。今後さらには、伝統文化の継承、子どもたちへの伝承活動、後継者の育成、神楽を中心とした地域コミュニティづくりに取り組んでいきます。



▲腹赤小学校での授業

『勇気と希望をもって困難に負けない心』

長洲小学校

ながす羽衣琉金の誕生から学ぶ

長洲町は金魚の養殖が盛んな町です。ことしの元日、新品種ながす羽衣琉金誕生のニュースが、新聞で報道されました。その記事を読み、深く感動した校長先生は、冬休み明けの全校集会で、ながす羽衣琉金誕生について話し、挑戦し続けることの素晴らしさを話しました。

校長先生は、ながす羽衣琉金の誕生を題材にした道徳の教材を作れないかと考え、新聞や広報がその記事を読み返し、町養魚組合の皆さんに取材をして、教材を作



▲新品種 ながす羽衣琉金

りました。また、保護者の協力でも場面絵もつけて、道徳教材『たった1匹からの挑戦』が完成しました。

6月には、6年生のクラスで道徳科の公開授業を行いました。道徳教材を使って「困難に負けない心」について学び、自分の考えを発表し合いました。

この学習から、「夢や希望をもって努力すること」、「まわりの支えや協力」、「ふるさとを愛する気持ち」の大切さを学ぶことができました。



▲道徳教材の場面絵

『たくましい子どもたちの育成を願って』

長洲町青少年育成町民会議

長洲町青少年育成町民会議は、昭和62年に、長洲町の有志によって設立されました。

現在、少子化の進行、価値観の多様化など、青少年をとりまく社会環境が変化してきています。青少年が未来に希望をもち、自分で考え、行動できる大人に育つためには、社会全体で支えていかなければなりません。

「大人が変われば子どもも変わる」を合言葉に、さまざまな活動をしています。

第1章	こんな家庭をつくりましょう
第2章	あいさつをかわし 笑顔のあふれる家庭
第3章	対話を心がけ 愛情に満ちた家庭
第4章	お互いを認めあい 思いやりのある家庭
第5章	ふれあいを深め 安らぎのある家庭
第6章	約束を守り 信頼しあう家庭
第7章	働くことを感謝し 喜びを分かちあう家庭
第8章	命の尊さを知り 命を大切にす家庭
第9章	夢や希望を持ち 心豊かな家庭

▲ながす 家庭づくり八章

年生を対象とした立志式の開催や、親子ふれあい事業、花いっぱい運動を実施しています。また、啓発活動として年2回町民会議日より「かけはし」を発行しています。

放課後子供教室などの町の行事にも積極的に参加するほか、町内の巡回も行っています。私たちは「ながす 家庭づくり八章」のような家庭をつくるために、今後も活動していきます。

大人が変われば子どもも変わる



▲立志式

多くの人に音楽の楽しさを伝えていきたい

西野守さんは、音楽で町を明るくしたいという思いで活動しています。

作詞・作曲した「ながすのふれきんちゃん」や「長洲よか」と音頭などの楽曲を町に提供し、楽曲は小学校の運動会など、さまざまな場所で使用されています。

また、長年にわたり長洲嫁人唄保存会の一員として活動するほか、音楽教室を開催しています。子どもから高齢者まで音楽を楽しんでもらいたいとの思いから、長洲ふるさと塾や、各区の公民館な



▲地域で開催している音楽教室



▲ながすのふれきんちゃん発表会

どで音楽教室を開催しています。平成23年には、長洲中学校吹奏楽部にサックスを寄贈し、町内の吹奏楽を盛り上げる活動も行ってきました。このような活動に対して、町から教育功労賞も受賞しました。

西野さんは「音楽を聴いて悪くなる人はいないと思います。これからは子どもから大人まで、多くの人に音楽の楽しさを伝えていきたいです」と話しました。